

# 藤島地区 地域ビジョン達成計画図 (2019 ローリング)

自治振興会設立の背景 → 人口減少に伴う単位自治組織の機能補完への取り組み  
日常生活を支える基本的サービスの提供 = 地域づくり

① 自主防災活動 ② 地域福祉活動 ③ 地域活性化活動



資源活用・人材  
活躍・課題解決  
継続性

5年後の将来像：人々が集い、喜びと感動を共有でき、住み続けたいまちへの創造

現状

現状分析  
(住民アンケート)

500人、2500件

課題発表会  
(理事会・評議員会)

導入

藤島地区地域  
ビジョン策定  
プロジェクト 27名

ビジョン達成  
5ヶ年計画作成

ビジョン発表会

推進

小学生  
夏休み宿題塾

高齢者宅  
玄関除雪サービス

災害対策  
警戒配備体制確立

展開

小学生  
冬休み書初め塾

住民Vタクシー  
通院・買物支援  
(延期)

災害対策  
自主避難基準設定  
元町総合防災訓練  
災害装備品整備

定着

中学生  
かてべん支援塾 → ソーシャルスキル  
(社会対応力)

自治会交通(ドアツードア)  
小学生通塾支援 → 高齢者はつつ支援

災害対策  
災害時対応マニュアルの作成・周知  
藤島地区総合防災訓練

5ヶ年計画ローリング年

強化

ふれあいバザー  
こども調理食堂  
共生サロン

進化

総括

第二次

いきいき  
まちづくり事業

子育て世代  
支援策の追究

高齢者支援  
ネットワーク  
の構築

暮らしの安心  
安全を創造

長続きする秘訣  
行政の補助金に頼  
らない財政基盤の  
確立を図った運営

最終年度

ファシリテーターの育成継続・専門的有識者の協力

2015年度

2016年度

2017年度

2018年度

2019年度

2020年度

2021年度

2022年度

要点	<p>◎ アンケート回収率 98%。関心度が高く、同じ課題を抱えている方々が多い。</p> <p>◎ 「こんなまちにしたい」では、①住みよい環境づくりに住民が参加できるまち ②子供達の声が聞こえるまちづくり、が重点として位置付けされている。</p>	<p>◎ ワークショップでは交通弱者対策の声が大。</p> <p>◎ 多くの意見がイベントに終始するのではなく、日常生活を支える基本的なサービスを望んでいる。特に女性の方々の声が多い。</p> <p>◎ 高齢者の意見で多かったのは除雪対策。</p>	<p>◎ 小・宿題塾は 22 名の応募に登録した 8 名の先生で対応。初年度としては保護者、学校側より好評を得た。</p> <p>◎ 除雪サービスは利用者、サポーターとも少なく、PR 不足。</p> <p>◎ 災害対策室では警戒配備体制はとれた。</p>	<p>◎ 小・宿題塾は 27 名で、先生も 12 名に増員。さらに充実の感。効率の運営のため低学年は地域の方々に依頼予定。</p> <p>◎ 避難情報 6 回。災害対策室対応マニュアルにて実施。災害の種類・規模に応じた人員配置の必要。(活性化の定義を追加)</p>			
----	--	--	---	--	--	--	--

自主防災・地域福祉・地域活性化それぞれの事業は将来像に向かっている。実行に限度はあるが、自治振興会は町内会の共同体であることを再度周知し、ローリングの必要あり。(2018年度)